

志賀原子力発電所1号機  
原子炉隔離時冷却系の復帰について  
(5月12日お知らせの状態からの復帰)

平成16年5月14日  
北陸電力株式会社

志賀1号機は、現在定格熱出力一定運転中です。

一昨日(12日)13時41分、定例の原子炉隔離時冷却系隔離弁の開閉試験を実施したところ、2個あるうちの1個の隔離弁の全閉が確認できませんでした。(5月12日お知らせ済み)

当該弁の閉止用の電気制御回路を点検するために電源を切って調査した結果、リミットスイッチ<sup>\*1</sup>に接触不良が推定されました。次に、電気制御回路の電圧確認のため電源を入れ、弁の開閉操作をしたところ正常に動作しました。

このことから、原因はリミットスイッチの一過性の接触不良と推定されます。

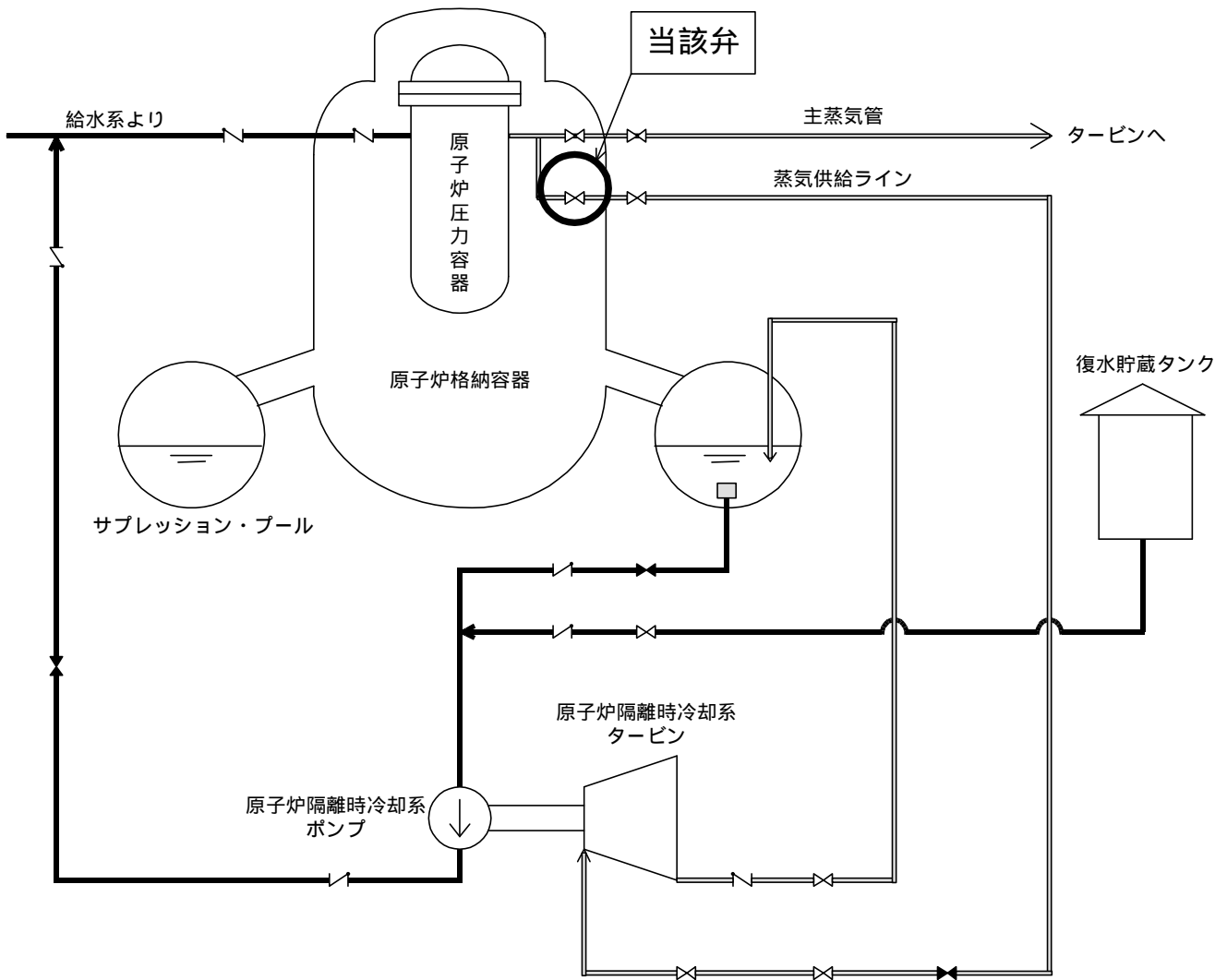
その後、当該弁について繰り返し動作確認を行い、正常に動作することを確認しましたので、原子炉隔離時冷却系を復旧し、本日(14日)10時46分に志賀1号機は保安規定における運転上の制限の逸脱<sup>\*2</sup>から復帰しました。

今後、リミットスイッチの状況を確認してまいります。

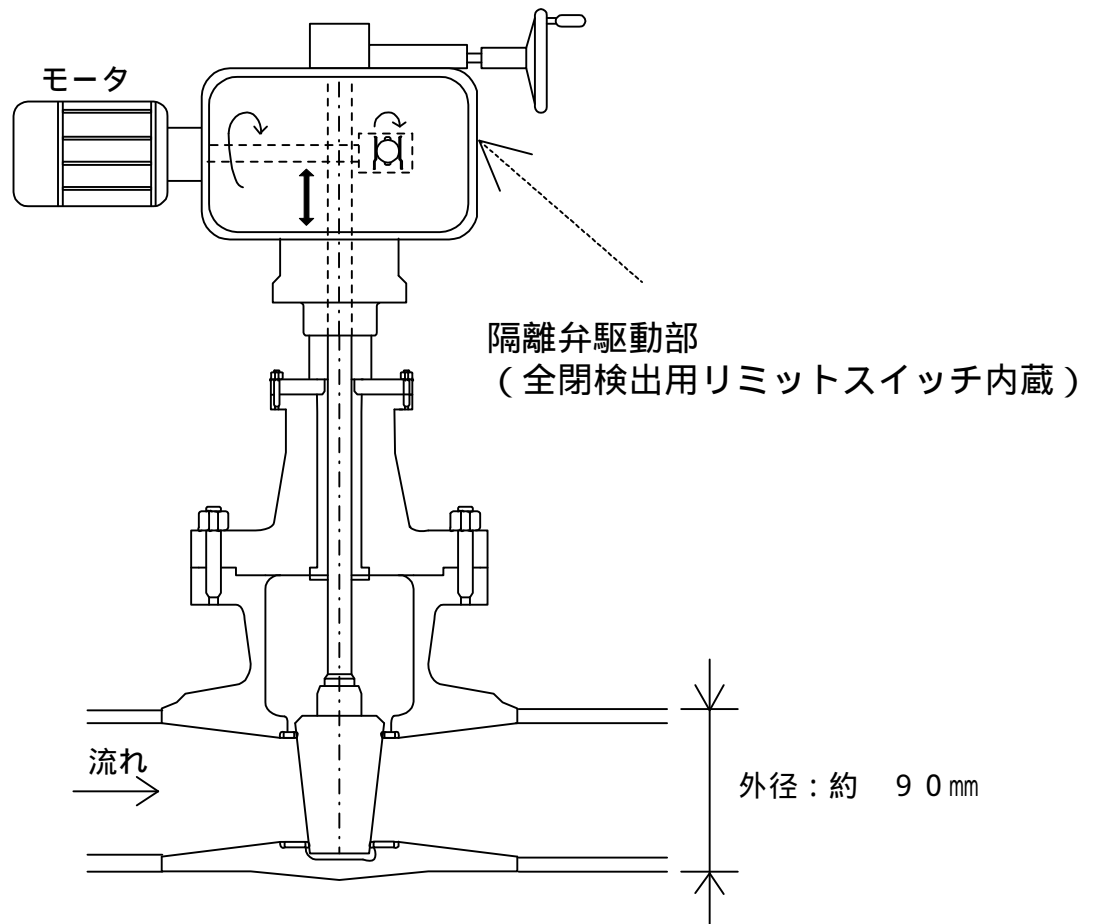
\*1：リミットスイッチ  
弁の開度を検出し弁の駆動を制御するスイッチ

\*2：運転上の制限の逸脱  
保安規定では原子炉の運転に関し、「運転上の制限」や「運転上の制限を満足しない場合に要求される措置」等が定められており、運転上の制限を満足しない場合には、要求される措置に基づき対応することになっている。

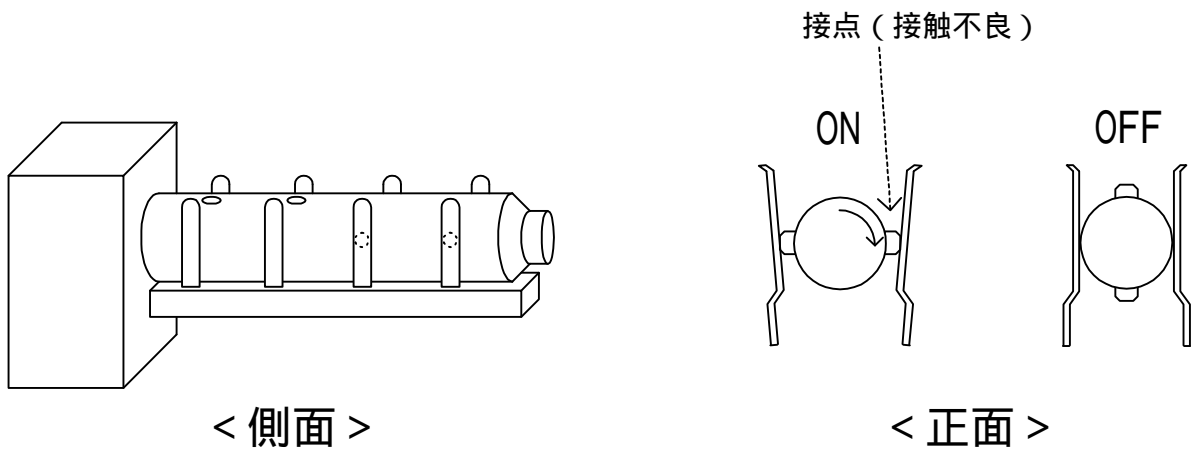
以上



原子炉隔離時冷却系概略系統図



原子炉隔離時冷却系隔離弁外形図



全閉検出用リミットスイッチ外形図